

平成31年度(令和元年度) 富山第一高等学校 学校経営計画

1 教育目標

校訓の「剛健」「練体磨心」を基本理念に、知・徳・体、調和のとれた人材を育てる。

- (ア) 心身ともに強く健康で、学力・品格ともに備わった人材を育成する。
- (イ) 課外活動を含め、学校生活を通じて社会性と豊かな人間性を育む。
- (ウ) 生徒個々の能力・適性に意を用いた指導を行い、目指す進路を実現する。

2 本校の特色

本校は昭和34年に設立されました。今年は60周年という節目の年です。これまでに3万2千人以上の卒業生を輩出しています。現在多くの卒業生が県内外の各界、各分野において活躍しています。この後も校名の通り、富山県第一の高等学校になるよう努力していかねばならないと考えています。

その本校が生徒に求めることは、ごく基本的なことです。1, さわやかなあいさつができること、2, 品位ある身だしなみであること、3, 時間を守ること、この3点です。これらは人が生きていくに欠くべからざるものであり、本校教育の原点というべきものです。対して、生徒が本校に求めることは何でしょう。1, 充実した高校生活を送りたいということ、殊に部活動をもって自らを鍛え成長させようと考えている生徒は少なくないと思っています。2, 将来の夢実現のため学業に勤しみたいということ、これは卒業後の進学あるいは就職という希望進路を叶えたいということだと考えています。そういう生徒の思いをサポートすることが本校の責務であり、教職員は生徒の教育(支援)に力いっぱい取り組んでいます。

そしてその生徒の夢実現のために、今年度これまでの「総合コース」「特別進学コース」「美術コース」に加えて、「S(スーパー)特進コース」を立ち上げました。これは難関国公立大学への進学を希望する生徒の夢を叶えるため、私立学校ゆえの柔軟な発想のもとで公立学校にない教育内容を作り上げていくコースです。学内に専門のチームを作り、検討を重ね、生徒の思いに応えたいと考えています。

とはいえ最終的には、生徒自身が学校生活を通して自らの生きる道を自らが作り上げてくれることを願っています。そのようになるよう生徒に関わって行くことが本校教育の特色です。

最後に、本校の名を全国に広めたのは運動部の活躍によるところが大きいのですが、運動部だけでなく、近年は文化部の活躍もめざましいものがあります。生徒の多くが放課後も学校にとどまり、部活動に励んでいます。部活動を通して活気あふれる学校になるよう努めたいと思います。

3 本校の現状と課題

本校生徒の多くは卒業時に上級学校へ進学します。よって本校は進学校といえますが、すべての生徒が学習への意欲・関心を十分有しているとはいえません。また自ら

の目標を達成するよう努力しているとはいえません。そういう生徒をどう教育(支援)するかは、本校の大きな課題といわざるを得ません。「主体的、対話的で深い学び」を生徒に求めますが、そのために教職員がどうあるべきか、その対策に取り組むたいと考えています。そのための一つとして「高大連携」に今年度より取り組みます。そのなかで「アクティブ・ラーニング」をテーマとした授業改善を進める考えでいます。またICT化を推進する予定です。生徒の学習意欲を向上させるため何ができるか、教職員自身の意識改革が必要だと考えています。

4 本年度の重点目標

- (ア) 生徒の目標(第1志望)を実現させるための教育(支援)を行う。
- (イ) 授業におけるICT化を推進する。
- (ウ) 日々の学校生活のなかで、生徒の豊かな人間性を培う。

5 本年度の重点課題(アクションプラン)

1 学習活動・教科指導

目 標 教科指導力を高め、生徒の主体性や学習意欲の向上を図る

- 方 策
- ・ICT機器を効果的に活用し、生徒の興味関心を引き出す
 - ・「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業を実践する
 - ・教員研修会や研究授業を通して指導方法を研究する

2 生徒指導

目 標

- ・公共交通機関利用マナーの向上及び自転車運転ルールの徹底
- ・すすんであいさつができる生徒の育成

- 方 策
- ・「高校生さわやか運動」などであいさつや声掛け、乗車マナー指導を行う
 - ・学年集会、「学年通信」などを通して意識喚起を行う
 - ・毎朝の校前指導を継続する
 - ・交通安全指導の日(1日・15日)には、通学路に出向き指導を行う

3 生徒会活動(特別活動)

目 標 委員会活動やその他の活動を通して、主体的、積極的に活動できる生徒を育成する

- 方 策
- ・個々の個性を尊重し、委員会活動を行う
 - ・文化祭・体育大会などの学校行事の役割分担のなかで、個性を発揮させる
 - ・地域清掃活動などのボランティア活動に、主体的に参加させる

4 保健指導

目 標 生命を尊重し生涯にわたり自らの健康を管理できる生徒の育成

- 方 策
- ・保健の授業で応急処置や心肺蘇生法を習得させる
 - ・総合的学習の時間に消防署職員を招き、救命講習を受講させる

5 図書館活動

目 標 読書習慣の定着と図書館の利用を促進する

- 方 策
- ・「朝の読書」にしっかりと取り組ませる
 - ・学年、教科担当の協力を得て、授業等における図書館活用の機会を増やす
 - ・年間貸出冊数の目標を 3500 冊とする

6 環境教育

目 標

- ・清掃活動を通じて集団生活を意識し、協調性を育成する
- ・身の回りの整理整頓を通して、清潔な状態を保とうとする態度を育成する

- 方 策
- ・学校行事前に清掃活動を行う
 - ・美化委員会活動の指導
 - ・黒板クリーナー内フィルター清掃（毎月末）
 - ・清掃担当区域の清掃道具点検及び整備（4月・6月・11月）
 - ・除草の実施（5月・10月）

7 進路支援

目 標 多様化する生徒の進路志望に適した有効で実践的な情報提供を行い、進路目標実現へ向けて指導を行う

- 方 策
- ・各種学校説明会や来校訪問で得た情報を取捨選択し、各担任がその時に必要な情報は何かを踏まえながら、校内LANの活用を含め、閲覧しやすい環境を作る
 - ・各種学校から送付されてきた資料を直接配布する
 - ・各学年の特性に応じた適切な情報を配信する
 - 1 学年：2年次に選択する文系・理系の情報に加え、1年次から受験を意識できるような情報の提供
 - 2 学年：各大学、短大、専門学校で学べる学問分野の情報や大学入学共通テスト（新テスト）に関する情報の提供
 - 3 学年：志望校をできるだけ早く決定できるような情報の提供
 - ・生徒の進路志望調査をもとに、複数の教員が共通理解を持ち進路実現につながる指導を行う
 - ・これらの情報提供がどの程度生徒たちの進路指導に生かされたのかを各担任より聞き取り調査を行い、次年度に生かしていく

8 情報発信

目 標 広報活動の充実を図り、スピーディーな情報を発信する

- 方 策
- ・LINE配信サービスで生徒と保護者にいち早く正確な情報を伝える
 - ・本校の教育活動や受験情報をホームページで発信し、中学生への広報活動を充実させる
 - ・学校内の伝達・連携を充実させる